

令和6年度 麻生支援学校不祥事ゼロプログラム

麻生支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的とし、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施体制

- (1) 麻生支援学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長及び教頭、事務長がこれを補佐する。
- (2) 不祥事ゼロプログラム実施にあたって、全校的な取組として活動を活性化するために、総括教諭は校長、副校長、教頭、事務長を補佐し、不祥事防止会議の中核として推進する。
- (3) 各職員は不祥事を自分事としてとらえ、全職員が問題意識を持って不祥事防止ゼロプログラムに取り組む。

2 取組課題、目標、行動計画

	取組課題	目標	行動計画
1	法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	教職員としての使命とともに、社会の一員であることを自覚し、公務内外にかかわらず常に、公務員としての自覚を持ち行動する。	不祥事防止会議、4月の新転任者研修等により、神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針等を活用し、法令遵守についての理解を深める。
2	職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いの人権を尊重した言動・行動を行い、働きやすい職場環境を作る。	不祥事防止会議において、不祥事防止点検資料を活用し、職員間の協議により職場環境づくりについて理解を深める。
3	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童・生徒に対応する際の適切な相談、指導の在り方について具体的な場面を想定し実践につなげる。	校内研修会において映像資料を活用し、具体的な場面において児童・生徒への適切な相談、指導の在り方について職員間で意見を交換し、理解を深める。
4	体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した支援、指導をチームで行う。	「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」の内容をもとに職員との面談や、学部等による好事例の発表・保護者の意見等を学校全体で共有し、障害の程度や発達段階による支援、指導の充実を図る。
5	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜資料、別教育計画、進路関係書類等の作成・保管・廃棄を適切に行う。	不祥事防止点検資料（12月）を活用して、事故防止について理解を深める。管理簿により、各文書の管理状況を確認する。
6	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	不祥事防止点検資料（4月）を活用して、事故防止について理解を深める。管理簿により、各文書の管理状況を定期的に確認する。
7	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを継続する。	不祥事防止会議をとおして、不祥事防止点検資料を活用し、事故防止について理解を深める。
8	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	適切な業務計画により、各職員が学校運営に主体的に参画し、業務のスリム化等働き方改革を推進する。	業務の決裁権の委譲、業務改善について、職員から意見を聞く仕組みを作り、随時できることから取組み、着実に業務のスリム化を図る。

3 ゼロプログラムの検証

- (1) 中間検証 10月に中間検証を実施する。達成状況により必要に応じて対応策を検討する。
- (2) 最終検証 年度末に最終検証を実施する。年間のゼロプログラムの目標達成の状況を検証する。